

議長に 前島 貞一氏 (富士市選出)
副議長に 太田 満氏 (富士市選出)
監査委員に 井出 雄氏 (知識経験を有する者のうちから選出)
古川 日出男氏 (富士宮市選出)



議長 前島貞一氏



副議長 太田満氏



監査委員 井出雄氏



監査委員 古川日出男氏

平成18年10月20日(金)午前10時から管理組合会議室において、岳南排水路管理組合議会定例会を開催しました。

組合議員の任期が9月30日で満了したことに伴い、富士、富士宮两市議会において改めて市議会議員のうちから組合議員の選出が行われ、前議員が全て再選されました。今回の議会定例会において議長、副議長選挙が行われ、議長に前島貞一氏、副議長に太田義満氏がそれぞれ当選されました。また、監査委員の任期満了に伴い、知識経験を有する者から選出される監査委員に井出雄氏を、議会選出の監査委員に古川日出男氏を選任することが同意されました。

平成17年度決算など6件が上程され議決・承認されました。

岳南排水路管理組合議会議員名簿

(任期 平成20年9月30日まで)

No.	職	氏 名	備 考
1	議 長	前島 貞一	富士市選出
2	副議長	太田 義満	富士市選出
3	議 員	小倉 通利	富士市選出
4	議 員	渡辺 登	富士宮市選出
5	議 員	古川 日出男	富士宮市選出
6	議 員	米山 享範	富士市選出
7	議 員	小室 直義	富士宮市長
8	議 員	石橋 広明	富士市選出
9	議 員	小長井 義正	富士市選出
10	議 員	稲葉 寿利	富士市選出

地方公務員災害補償法等関係諸法令の施行及び改正により、通称範囲及び条例で使用する用語を改正しました。

組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

給与の適正化を図るため、手当の見直しを行いました。

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

歳入では、平成17年度決算確定に伴い前年度繰越金の追加、歳出では、調整予算として予備費を補正しました。

平成18年度組合会計補正予算は、歳入歳出予算に2,212万円を追加し、7億2,752万円となりました。

平成18年度組合会計補正予算について



議場風景

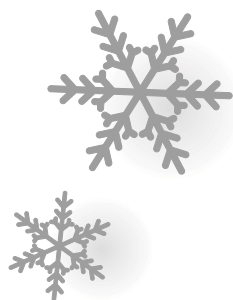
平成17年度決算状況

歳入(会計年度内に入ってきたお金) (単位:万円)

使用料 (岳南排水路の使用料)	6億6,971
繰入金 (基金からの取りくずし金)	3,114
繰越金 (前年度からの繰越金)	5,542
諸収入 (基金運用収入)	1,030
計	7億6,657

歳出(会計年度内に使ったお金) (単位:万円)

管路施設費 (管路施設の整備に)	2億9,364
ポンプ場管理費 (ポンプ場の運転や整備に)	3,105
排水調査費 (硫化水素などの調査に)	644
総務費 (庁舎管理や事務費などに)	1億9,810
積立金 (災害復旧などに備えた積立金)	1億8,522
計	7億1,445



監査委員の任期満了に伴い、知識経験を有する者のうちから選任する者及び議員のうちから選任する者として、富士市代表監査委員の井出雄氏、富士宮市議会議員の古川日出男氏を選任することが同意されました。

監査委員の選任について同意を求めるについて

地方公務員災害補償法の改正により、障害等級ごとの障害に関する規定が施行規則に移行したため、所要の改正をしました。

職員の公務災害等見舞金支給条例の一部を改正する条例について

広報
がくはい

第20号

編集・発行

岳南排水路管理組合
富士市今泉654番地の1

☎ (0545)51-2623

FAX(0545)51-2676

e-mail:ex-gakuhai@div.city.fuji.shizuoka.jp

平成17年度組合会計
決算認定について

歳入決算額は7億6,657万円、使用料及び繰越金の減少により前年度と比較して0.4%減少しています。

歳出決算額は7億1,445万円、前年度に比較して0.5%の微増となりました。これは定年退職者に伴う人事管理費及び管路施設費の増加によるものです。

財源の基礎となる年間総排水量は、約3億7,380万8千m³で前年度に比較して4.1%減少しました。また、許可排水量は1工場の減量により1,529,024m³/日となり、使用料収入は3.5%減少しています。

年度中に実施した主な事業は、施設の保全対策事業として、管渠更生工事7件1億8,863万円、管内補修工事5,268万円、凡夫川水管橋耐震診断業務委託532万円など計11件。

管路の流下機能を改善するための事業として、岳南1号第7排水路管路新設工事など3件705万円。排水路廃止管の対策工事に446万円。

その他、今泉ポンプ場の運転管理業務委託2,167万円、管内点検作業委託2件665万円、腐食診断調査業務委託449万円などを執行しました。

職員の給与などを公表します

人事行政の運営状況の公表

地方公務員法の一部改正により、昨年度から、人事行政の運営状況の公表が義務づけられました。皆さんにご理解いただけるよう、岳南排水路管理組合の人事に関するについて公表します。なお、岳南排水路ホームページでも、詳しい情報をごらんになれます。

給 与 な の の 状 況

人件費の状況		(平成17年度会計決算)
歳出総額(A)	7億1,445万5,000円	
人件費(B)	1億5,751万2,000円	
人件費の比率(B/A)	22.0%	
平成16年度の人件費の比率	17.6%	

人件費には職員の給与、管理者(富士市長)及び管理組合議員などに支給される報酬などを含んでいます。(退職者 H16 0人、H17 1人)

職員給与費の状況			(平成18年度会計予算)
給 与 費	職員数(A)	15人	
	給 料	6,644万3,000円	
	職員手当	1,272万4,000円	
	期末勤勉手当	2,830万4,000円	
	合計(B)	1億 747万1,000円	
	1人当りの給与費(B/A)	716万円	

職員手当とは扶養手当、住居手当などの諸手当で、退職手当は含まれていません。

職員の初任給の状況		(平成18.4.1現在)			
区 分		岳南排水路管理組合	富士市(管理市)	国	
一 般 行政職	大学卒	17万6,800円	17万6,800円	I 種	17万9,200円
				II 種	17万 200円
	高校卒	14万8,000円	14万8,000円	III 種	13万8,400円

経験年数別・学歴別平均給料月額		(平成18.4.1現在)			
区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一 般 行政職	大学卒	27万8,781円	34万3,439円	39万3,700円	
	高校卒	23万6,867円	29万2,975円	34万6,800円	

退職手当の状況		(平成17年度)					
区 分		岳南排水路管理組合			富士市(管理市)		
		自己都合退職	勤 奨退 職	定 年退 職	自己都合退職	勤 奨退 職	定 年退 職
勤続20年	21.0 月分	27.3 月分	21.0 月分	27.3 月分	21.0 月分	27.3 月分	
25年	33.75月分	42.12月分	33.75月分	42.12月分	33.75月分	42.12月分	
35年	47.5 月分	59.28月分	47.5 月分	59.28月分	47.5 月分	59.28月分	
最高限度	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分	

勤奨退職の場合は、富士市、国と同じく定年前早期退職特別措置(2～20%加算)があります。支給率は、国と同じです。

級別職員数の状況		(平成18年4月1日現在)						
区分		1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
標準的な職務	主事補 技師補	主 事 技 師	上席主事 上席技師	係 長 主 査	課 長 参 事	局 長		
職員数	1人	3人	2人	3人	5人	1人		15人
(うち男)	(1人)	(3人)	(1人)	(3人)	(5人)	(1人)		
(うち女)	(0人)	(0人)	(1人)	(0人)	(0人)	(0人)		
構成比	6.7%	20.0%	13.3%	20.0%	33.3%	6.7%		100%
前年の構成比	—	20.0%	13.3%	20.0%	40.0%	6.7%		100%

研 修 の 状 況

富士市(管理市)に依頼した研修			(平成17年度)
区 分	対象職員・人数	主な内容	
基本研修	新規採用職員、 昇任者など2人	政策形成研修・マネジメントに 関する研修会など	
専門・特別研修	受講希望者43人	法律講座・講演会など	

岳南排水路管理組合で実施した研修		
区 分	対象職員・人数	主な内容
派遣研修	専門知識・技術の習得を 要する職員 27人	日本下水道協会など 外部研修機関へ派遣

対象職員人数は、研修参加延べ人数です。



今泉ポンプ場除塵機修繕作業

平均給料月額、平均年齢

(平成18.4.1現在)	
一般行政職	36万7,200円(45.0歳)

一般行政職とは一般行政事務に従事する事務・技術職員をいいます。

特別職の手当・報酬などの状況		(平成8.4.1改定)		
手 当	区 分	年 額	期末手当	
	管理者(富士市長)	9万5,000円	なし	
	助 役	8万5,000円		
	収入役	8万 円		
報 酬	区 分	議会1日当り	期末手当	
	議 長	1万2,000円	なし	
	副 議 長	1万1,000円		
	議 員	1万 円		

定 員 の 状 況

		(単位:人 各年4月1日現在)		
区 分	一 般 行 政 職			
	総務課	施設課	計	
	平成17年	7	8	15
	平成18年	8	7	15
	差 引	1	△1	0

職員数は管理者(富士市長)や助役などの特別職以外の職員数であり、臨時職員を除いてあります。



硫化水素調査

・・・ 公平委員会の状況 ・・・

公平委員会とは、地方公共団体職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障するための機関です。

富士市と岳南排水路管理組合は、地方公務員法第7条第4項の規定により、共同で公平委員会を設置しています。

公平委員会の権限は地方公務員法第8条第2項により、おおむね次のように定められています。

■職員の給与や勤務時間、そのほか勤務条件に関する要求を審査・判定し、必要な措置をとること

■職員に対する不利益な処分についての、不服申し立てに対する議決や決定をすること

■職員の苦情を処理すること

公平委員会の業務の状況

(平成17年度)

業務の種類	件数
勤務条件に関する措置の要求の状況	0件
不利益処分に関する不服申し立ての状況	0件

・・・ 福利厚生の状況 ・・・

そのほかの主な福利厚生事業

■ライフプラン事業

職員の生涯生活設計(ライフプラン)の意識啓発を図るため、50歳を対象とした「生涯生活充実型」、58歳を対象とした「退職準備型」のセミナーに参加しています。

■被服の貸与

職員の公務能率の向上を図るため、職員に対し作業服等の被服貸与を行いました。

■職員互助会への加入

職員は福利厚生のため富士市職員互助会に加入しています。富士市職員互助会は、職員の会費と助成金で運営されています。

管理組合から富士市職員互助会への助成金

41万3,000円(平成17年度実績額)

※平成18年度から互助会事業の一部廃止等を行い、公費助成を給料の1,000分の6から1,000分の5に減額しています。

定期健康診断の状況

(平成17年度)

対象者	15人
受診者	15人
受診率	100.0%

公務災害などの認定状況

(平成17年度)

公務災害	1件
通勤災害	0件
計	1件

(問合せ)

総務課庶務係 (TEL) 51-2623
(FAX) 51-2676

《HP》<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~gakuhai/>

富士市ホームページの「施設の情報」からもアクセスできます。



更生材を人孔から挿入

管内を製管工法
(ダンピー工法)
で更生
(岳南3号第4排水路
管渠更生工事
:富士市比奈地先)



今年の夏の点検・集中工事は7月24日(月)から28日(金)に行われ、管渠更生工事、人孔補修工事、凡夫川水管橋耐震補強工事、管内点検作業委託のほか今泉ポンプ場の各種点検作業委託などを実施しました。

夏の点検・集中工事が
終了しました



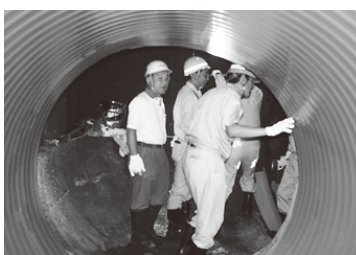
ICPブリス工法を視察する委員等
(岳南1号第5排水路管渠更生工事
:富士市依田原町地先)

岳南排水路運営委員等が
集中工事を視察

7月25日(火)、運営委員会委員等の方々20人により流入禁止期間中における集中工事の視察を行いました。岳南1号第5排水路管渠更生工事(富士市依田原町地先の反転工法(ICPブリス工法)の現場を視察し、続いて岳南4号排水路管渠更生工事(富士市依田橋地先の製管工法(SPR工法)の現場で施工中の排水管内を視察しました。



施工概要の説明を受ける委員等 (SPR工法)

SPR工法施工中の排水管内を視察
(岳南4号排水路管渠更生工事:依田橋地先)

管渠更生工事は7件で、岳南1号第5排水路(依田原町地先)、岳南1号分排水路(永田町2丁目地先)、岳南2号第1排水路及び第5排水路(今泉地先)、岳南3号第4排水路(比奈地先)、岳南4号排水路(依田橋地先)で総延長470mを、製管工法や反転工法により施工しました。

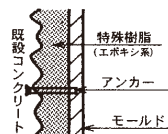


MLR工法により人孔を補修
(岳南1号第1排水路
人孔補修工事
:富士市伝法地先)

ご協力
ありがとうございました。



MLR工法



既設の人孔壁面に、不飽和ポリエステル樹脂製の板状のモールドをアンカーボルトで固定し、壁面との間にエポキシ系の特殊樹脂を注入する。

平成19年度

夏季工場排水流入禁止期間が決まりました

平成19年7月23日(月)午前5時から平成19年7月27日(金)午後5時まで

＝ 岳南排水路運営委員会開催 ＝

委員長 佐野 廣彦氏
副委員長 大石 展弘氏
梅田 浩彬氏



委員長 佐野廣彦氏
丸富製紙(株)会長



副委員長 大石展弘氏
高尾製紙(株)社長



副委員長 梅田浩彬氏
日本大昭和板紙吉永(株)社長

岳南排水路運営委員会委員名簿

任期 平成20年11月12日まで

No.	職	委員構成	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	委員長	岳南排水路使用者	丸富製紙(株)	会 長	佐野 廣彦	1号鷹岡
2	副委員長	〃	高尾製紙(株)	社 長	大石 展弘	1号富士宮
3	〃	〃	日本大昭和板紙吉永(株)	社 長	梅田 浩彬	3号B
4	委 員	〃	丸金製紙(株)	社 長	鈴木 基之	1号鷹岡
5	〃	〃	王子板紙(株)富士工場	工場長	白澤 紳児	1号南部
6	〃	〃	紺屋製紙(株)	社 長	山本 尊久	1号南部
7	〃	〃	株興人富士工場	工場長	海老澤 正男	2号
8	〃	〃	東海製紙工業(株)	社 長	村中 正明	2号
9	〃	〃	三島製紙(株)原田工場	工場長	中山 幸一郎	3号A
10	〃	〃	日本製紙(株)富士工場鈴川	工場長	岩 瀬 広徳	4号
11	〃	〃	王子製紙(株)富士工場	工場長	齋 藤 源二	5号
12	〃	知識経験者	富士商工会議所	専務理事	佐野 征二	
13	〃	〃	富士宮商工会議所	専務理事	加 茂 恒雄	
14	〃	富士市	富士市下水道部	部 長	藤 島 逸男	
15	〃	〃	富士市商工農林部	部 長	金 指 健司	
16	〃	富士宮市	富士宮市下水道部	部 長	土 橋 定男	

平成18年11月13日(月)岳南排水路運営委員会を開催しました。委員会に先立ち、委員が任期満了になったことに伴い、改めて16名の方々に、管理者(富士市長 鈴木尚)から委嘱状を交付し、委員をお願いしました。委員長に丸富製紙(株)会長の佐野廣彦氏、副委員長に高尾製紙(株)社長の大石展弘氏、日本大昭和板紙吉永(株)社長の梅田浩彬氏が選任されました。

委員会で審議・報告された事項は、次のとおりです。

審議事項 ○平成19年度夏季工場排水流入禁止期間について
報告事項 ○平成17年度事業報告について
○平成18年度夏季管内点検結果について

平成19年度夏季工場排水流入禁止期間について

平成19年度の流入禁止期間は平成19年7月23日(月)午前5時から平成19年7月27日(金)午後5時まで

点検の詳細日程は、各路線ごとの工事、点検及び各種調査に必要な日数とします。

以下、報告内容は次のとおりです。

平成17年度事業報告について

(一面の議会決算報告を参照ください。)

平成18年度夏季管内点検結果について

期間中に実施された作業は委託9件、工事19件、その他関係

連作業5件の計33件でした。

管内点検作業委託(2件)は、TVカメラ調査及び目視調査を実施しました。TVカメラ調査は、岳南1号・2号・3号排水路の内径1,000mm以下の管渠1・77km。また、目視調査は、岳南1号・3号・5号排水路の内径1,100mm以上の管渠6・53kmについて実施しました。その結果、浸入水たまり、クラックなどが確認されましたので、緊急性のあるものより順次補修していきます。

その他の委託として、各路線にある緊急放流及び流量調節用のゲート10箇所・15門及び今泉ポンプ場の電気設備・ゲート等の点検整備並びに管路の測量、耐震診断等7件を実施しました。

ポンプ場設備については、老朽化している設備が多いため、日常点検あるいは定期点検を計画的に実施し、適切な維持管理を行っています。

使用者の動き

平成18年7月6日から平成18年11月30日までの使用者の変更は次のとおりです。

代 表 者	工 場 名	新しい代表者
	日本製紙(株)富士工場富士	岩 瀬 広 徳
	日本製紙(株)富士工場鈴川	岩 瀬 広 徳
	美藤製紙(株)	佐 野 武 男
	美藤製紙(株)第二工場	佐 野 武 男
	美藤製紙(株)(第三)	佐 野 武 男
	王子特殊紙(株)東海工場富士宮事業所	井 出 啓 之
	三島製紙(株)原田工場	中山幸一郎
	三島製紙(株)原田工場依田橋	中山幸一郎
	市川製紙(株)	佐 野 武 男
小野製紙(株)	佐 野 武 男	
	日清紡績(株)富士工場	三 好 学

名 称	新しい工場名	変更前の工場名
名 称	王子特殊紙(株)東海工場富士宮事業所	王子特殊紙(株)第一工場富士宮事業所
	王子特殊紙(株)東海工場第一事業所	王子特殊紙(株)第一工場
	王子特殊紙(株)東海工場富士事業所	王子特殊紙(株)富士工場
	王子特殊紙(株)東海工場富士事業所	王子特殊紙(株)富士工場

※使用廃止工場 マンオカ製紙(株) H18.10.31廃止

平成18年8月30日(水)富士市が市民を対象に募集した「まちかどネットワークカー」の方々4人が公共施設見学として来所しました。

管理組合職員から排水路建設の経緯、施設の概要、ヘドロ公害の歴史などについてビデオやパンフレットによる説明を受けた後、場内の施設と排水の吐口の1つである沼川吐口を見学しました。



まちかどネットワークカーが施設見学

工事は、管渠更生工事7件(総延長470m)、人孔補修工事、凡夫川水管橋耐震補強工事、管渠改良工事、管渠補修工事などを施工しました。

工事については工事期間が非常に短期間であり、自然環境あるいは施工環境に左右されるなど制約されることが多いため、作業効率が良く、安全でより確実な工法の情報を積極的に収集・採用し、施工しています。



運営委員へ委嘱状交付